

## 「第2次松江市自死対策推進計画」(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果及び意見に対する市の考え方について

### 1. 意見募集の結果について

募集期間	令和5年9月25日(月)～令和5年10月24日(火)
公開場所	市ホームページ、市役所本庁・支所行政資料コーナー、健康推進課
意見提出者数	2名
意見等項目数	2件

### 2. ご意見の概要と市の考え方について

	意見内容		回答
	頁	原文	
1	P23 (6) 社会的な 取り組みで自死 を防ぐ⑪～⑭ P24 3) P25 7)	<p><b>一般就労、障害者雇用、福祉就労(A型事業所、B型事業所、就労移行)における在宅ワークの雇用や支援を充実させてほしい。</b></p> <p>精神・身体・知的、どの障害や疾患においても身体や精神の不調、障害、特性によって外出や通勤・通所の困難を抱える人々は全国・市内にも少なくはないと思う。私もその一人である。仕事、求職、収入の悩みは生活や人生において大きな悩みに直結するため、その悩みにおいて自死を考えてしまう事も少なくはない。</p> <p>全国においてはコロナ禍を機に「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」  <a href="https://chiiki-ks.jp/socialbusinessnet/">https://chiiki-ks.jp/socialbusinessnet/</a>          や、福祉就労 A 型・B 型におけるリモートワークで就労など、様々な形で在宅ワークの支援がされている。</p> <p>精神疾患(うつ病)と発達障害(自閉症スペクトラム)を持つ私は、以前住んでいた岩手県において B 型事業所の在宅勤務のおかげで、体調により安定しなかった勤務を週 5 日まで増やす事が出来たが、松江市には在宅ワークを行っている福祉事業所や障害者雇用がないため、仕事探しや収入を得るのに非常に難儀しており、その悩みは病状や体調にも影響している。</p> <p>精神疾患や障害を持つ人々だけでなく、ひきこもりで悩んでいるがなかなか外出が困難だったり、きっかけをつかめない人々においても在宅ワークの充実が社会とのつながりを持ったり社会復帰をするきっかけにもなるのではないだろうか。</p>	<p>本市では、「松江市障がい者基幹相談支援センター絆」において、障がいのある方からのご希望などを伺いながら、関係機関・事業所と連携して就労(在宅ワーク含む)の支援を行っておりますので、ご相談ください。</p> <p>ご指摘のとおり、在宅ワークの充実、外出が困難な方にとって社会の接点となり、社会復帰につながる有効な手段の一つと認識しております。</p> <p>このたびは貴重なご意見をありがとうございました。</p>
2		<p>神奈川県座間市に「<b>断らない相談</b>」というのがありました。とにかく話を聞いて、あらゆる手をつくすという活動の内容でした。</p> <p>他県、他市町村にお話を聞かれるのも有りだと思います。私が文字にするより、詳しくはNHKのみのがしサイトで見てください。</p> <p>この場をかりて、一畑のデパートが無くなる事にもご提案させてください。</p> <p>鳥取市の「大丸」からの「マルユウ」への取り組みも話を聞かれたらと思います。閉店が決まっているとの事なので次の計画のひとつにいかがでしょうか。伝えてくださればうれしいです。</p> <p>お店も人も減るとお金も人も県外へ流れそうで心配と寂しい気持ちになります。自死対策もあわせて一考をお願いします。</p>	<p>本市においても神奈川県座間市の「断らない相談」と同じく、生活困窮者自立支援制度に基づく「松江市くらし相談支援センター」という窓口があり、生活でのお悩みごと等を相談していただくことができます。ご本人と相談しながらプランを立て、1人ひとりに寄りそいながら、お悩みごとと一緒に解決できるよう支援し、それぞれの状況に応じて、必要時には他の窓口とも連携しています。</p> <p>そのほか本市では、市民の皆様の困りごとに総合的に対応する窓口として、「ふくしなんでも相談所」(松江市社会福祉協議会窓口)を市内14か所、「ふくしなんでも相談所サテライト」(社会福祉法人、薬局)を市内33か所に設置し、幅広い内容のご相談を受けとめ、適切な機関へつなぐなど、市民の皆様に寄り添った対応に努めています。</p> <p>このような相談窓口での対応はもちろん、悩みを抱える方がひとりで悩まず、まずは相談していただけるよう、引き続き相談窓口の周知啓発にも努めてまいります。</p> <p>一畑百貨店に関するご意見につきましては、担当部署とも共有させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。</p>